

牧草と園藝



秋播き牧草の紹介

新たに牧草地を造成したり、既存の草地を更新・改善する良い時期を迎えました。ここでは、いろいろなケースを想定し、それと適応する草種・品種をご紹介します。

1. 新播草地造成時の播種設計

<環境条件>

湿潤条件 ・レッドトップ・リードカナリー・トールフェスク・イタリアンライグラス
 (中間) } ・オーチャードグラス・トールフェスク・ラジノクローバ
 条件良好 } アカクローバ・アルファルファ・(山岳地帯 チモシー)

<利用目的>

放牧地 ・レッドトップ・ケンタッキーブルーグラス・ペレニアルライグラス・シロクローバ
 (兼用) } ・オーチャードグラス・トールフェスク・イタリアンライグラス「エース」
 採草地 } アカクローバ・アルファルファ・ラジノクローバ

◎混播組合せに際しては、環境条件適応性を重視し、更に利用目的も加味しましょう。

2. 耐暑性に優れる品種の選定

- オーチャードグラス 「ナツミドリ」、「アキミドリ」
- トールフェスク 「サザンクロス」
- イタリアンライグラス 「エース」
- アルファルファ 「タチワカバ」

◎府県温暖地では、耐暑性に優れる品種を組み込むこと。これが持続性を高めるポイントで、経済的にも有利です。

3. 簡易更新時に利用性の高い草種・品種は？

●イタリアンライグラス「エース」

- ・標高700mを超す地帯や東北地域では、2~3年利用ができます。
- ・競合力が強いので、雑草に負ける心配はありません。
- ・糖分含量高く、サイレージ調製に好適です。水分含量は他草種より高く、乾草調製には時間がかかり不向きです。

●リードカナリーグラス「ベンチャー」

- ・湿害を受けやすい圃場、車踏圧で裸地化しやすい部分の補修に好適です。
- ・低アルカロイド品種で、放牧地・採草地のいずれにも適します。
- ・ほふく茎で密度を維持します。輪作草地より永年草地に好適です。